

生が診察に降りてこられました。血圧も脈も正常だそうです。

みんなお母さんたちは、それぞれ子と私たち、主人たちの手紙をもろって泣いたり、その後、かい中電灯の光をたよりに返事を書く人、世間話に花が咲いている人などでにぎわっています。

る番のあなたたちも火の用心をして、祐坊には声じまりをくれぐれもたのみますよ。

何日まで座り込みが続くかわかりませんが、とにかく最後までともにガンバリ。

をとりました

戸田 晶子

といひながら根氣も使い果し昨年他界いたしました。あのいまわしい爆発事故は、ついこのあいだのうちに生々しく感じられますが、あれからもう三年数ヶ月がたっておりますですね。その間、ご本人のご不幸は申すまでもないことご家族の皆様のご心労いかばかりでございましたでしょうか。

一家の支柱の方が思うようにご回復なさらない不安、補償の問題など日頃親しくさせて頂いた代りおりました方々のお悲しみを眼のあたりにみておりましただけに、人ごとのようには思えず、ただえさえ空気の悪い坑内に、長時間座り込みを続けておられる皆様方のかげしなればならない気持ちにかかれまして、失礼とは存じました。がペンを取ったしだいです。

いまなお、ご健闘の宮川様、谷端様のお名前を拝見いたしましたとき、お世話になりました背を思い出し、教は少なくなりました。ですが、手をとり合つてよりよい社会をつくるために努力をなさっている皆様がよくわかります。どうぞお体に十分お気を付け下さいまして頑張つて下さいませ。

三川姉主婦の皆様